



トップクラス「TR」のスタート

リング園を駆け抜ける

全日本実業団 サイクルロード 松川町で初開催

「第一回全日本実業団サイクルロードレースin南信州松川」(同実行委員会主催)は七月三十一日、八月一日の二日間の日程で、松川町内に設置したコースで繰り広げられた。

初日はB R ー1、最終日はE R、F R、T Rの各カテゴリーがレースを行い、出場した選手たちは、沿道からの声援を背に、同町特産のリング園の中を駆け抜けた。

社会人自転車レースの最高峰「ジャパンサイクルロードレースツアー2010」の第十二戦で、トップクラスのT Rにはプロ選手を含む百十二人が出場した。

T Rは一週七・五ギを十三周するコースで行い、宇都宮プリッツェンの中村誠選手(三セ)が初優勝を飾った。期待がかかった飯田市が本拠地のかぶちゃん農園・ボンシャ

ンス飯田の三選手はいずれも完走はならなかった。

初めての開催ということもあり、沿道には多くの見物客が訪れ、選手たちに声援を送った。萩原正義実行委員長は「多くの選手から、きついが良いコースと言ってくれた。今年の反省も踏まえて、来年へとつなげ、もっと盛り上がる大会にしたい」と話していた。